

地質ニュース

昭和 58 年 9 月 第 349 号 1983

昭和58年7月豪雨による島根県西部の山崩れと土石流……東元定雄… 6

水質から地下水の起源・流動を探索……………永井茂…16
——熊本平野の例—— 石井武政

モンゴルとその螢石鉱床 ②……………岸本文男…28

タイ北西部のすず・タングステン鉱床瞥見……………小村幸二郎…41

アンデス中部の金鉱床 エル・インディオ……………佐藤興平…52

会話型データ処理——その10——
GEOCAPS でのデータの入力とソート……………吉井守正…58

文豪ゲーテと地質学……………山田正春…64
鈴木重人

5万分の1地質図幅「市野瀬」……………河内洋佑…71
湯浅真人
片田正人

口 絵 昭和58年7月豪雨災害(島根県西部)……………東元定雄

編集 地質調査所

表紙の写真

昭和58年7月豪雨の爪痕(三隅町岡見)

昭和58年7月20日から7月23日にかけての梅雨末期の豪雨は、島根県西部に死者・行方不明者107人、建物・耕地・道路等の被害3,150億円以上という大きな災害を及ぼした。

7月20日から23日までの降水量は、益田市634mm、三隅町633mm、浜田市522mmに達し、強雨地域の至る所で山崩れ・崖崩れ・土石流が起り、増水した河川沿いに氾濫が起った。

写真は三隅町岡見字宮ノ迫付近の状況である。写真右端の道路に沿った荒廃部分が元は河川であったが、写真上部の右手の山崩れによって川が塞ぎ止められ、濁流は堤防を破って左手の水田に流入し、緑に覆われていた谷間全体を河原に化した様子がよくわかる。

(写真・文 東元定雄)

発行 株式会社 実業公報社